

かいぎめいしょう 会議名称	へいせい ねんど だい かいすぎなみくちいきじりつしえんきょうぎかい 平成29年度 第1回杉並区地域自立支援協議会 記録
にち じ 日 時	へいせい ねん がつ にち か 平成29年5月16日(火) 13:30～16:00
ば しょ 場 所	く やくしよにしとう かいだい かいぎしつ 区役所西棟8階第9会議室
<p>しゅつせきいじん ＜出席委員＞</p> <p>たかやまゆみこいじん かいちょう ほんやまようこいじん ふくかいちょう たなかたかしいん のせゆたかいじん かねこいじん かしわざいじん 高山由美子委員(会長)、春山陽子委員(副会長)、田中崇委員、能勢豊委員、金子めぐみ委員、柏木伸二委員、島田祐次郎委員、西明久恵委員、川口理恵子委員、渡邊英夫委員、鈴木正道委員、相田里香委員、阪東智子委員、継仁委員、寺西宏晃委員、島田有三委員、下田一紀委員、修理美加沙委員、永田直子委員</p> <p>けつせきいじん たなかなおきいじん たなかすみこいじん 欠席委員：田中直樹委員、田中澄子委員</p> <p>ぼうちょう めい 傍聴2名</p> <p>＜幹事＞</p> <p>ほけんふくしよしょうがいしやくかちょう でほゆうじ しょうがいしやくせいかつしえんかちょう もろすみじんこ 保健福祉部障害者施策課長：出保裕次、障害者生活支援課長：諸角純子</p> <p>すぎなみふくしよむしよたかいどむしよたんどうかちょう おかもとさちこ 杉並福祉事務所高井戸事務所担当課長：岡本幸子</p> <p>＜事務局＞</p> <p>しょうがいしやくか めぐるきみこ ささきなつえ たなべのぶひろ ほしのたけし いけだけいこ きろく 障害者施策課：目黒紀美子、佐々木夏枝、田邊信広、星野健、池田恵子(記録)</p> <p>しょうがいしやくせいかつしえんか きしよしひさ 障害者生活支援課：岸義久</p>	
<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 障害者施策課長挨拶 3 委員自己紹介及び幹事紹介・・・資料1参照 4 会長及び副会長の指名 5 会長挨拶 6 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 杉並区地域自立支援協議会について (2) 相談支援部会について (3) シンポジウムについて 7 議題 <p>今期の本会の進め方について</p> 8 その他 	

【配布資料】

- 資料1 第6期委員名簿
- 資料2 相談支援部会・地域移行促進部会名簿
- 資料3 杉並区地域自立支援協議会について
- 資料4 幹事会のまとめ
- 資料5 杉並区障害者計画等の改定・策定について
- 資料6 障害者計画・障害福祉計画と実行計画との関係
- 資料7 現在の障害福祉計画の計画数値と実績
- 資料8 今期のスケジュール
- 資料9 地域生活に関する調査報告から
- 資料10 課題シート
- 別添 地域生活に関する調査報告書(概要版)

【内容】

- 1 開会
- 2 障害者施策課長挨拶(出保課長)
皆様こんにちは。お忙しいところご出席いただきありがとうございます。
平成29年度の地域自立支援協議会は今期で第6期目となります。この協議会は、障害者総合支援法に基づく会議の場となっております。皆様、忌憚のないご意見をお願いいたします。
- 3 委員自己紹介及び幹事紹介・・・資料1参照
出席委員、幹事から、所属や氏名等について自己紹介を実施。
- 4 会長及び副会長の指名
会長、副会長は区の要綱で保健福祉部長が指名するとしております。部長より、高山会長、春山副会長にお願いしたいとのことです。相談支援部会委員は配布した名簿のとおりです。地域移行促進部会委員は後日名簿をお示しいたします。両部会委員ともに保健福祉部長が指名いたします。
- 5 会長挨拶(高山会長)
第5期から第6期になり、本会委員の約半数のメンバーが変わっています。高齢障害者への支援が必要という本会や部会の議論からのメンバーの改選もあります。この協議会は、継続性のある協議をしていきたいと考えています。今年は計画策定の年でもあります。昨年度立ち上がった差別解消支援地域会議もあります。杉並で暮らしている障害者、杉並で暮らしている方々が希望の持てる杉並であるように、協議を進めていきたいと思っております。
- 6 報告
(1) 杉並区地域自立支援協議会について・・・資料3・4参照
・資料3をもとに改めて杉並区地域自立支援協議会について説明を実施。今年度は時限的に専門部会として「計画部会」を設置する。また、もうひとつ専門部会を作る準備をしている。第6期は、本会の2時間半の会議の中で休憩を10分とる。
○会長より：前回の議論を振り返って、今期にどうつなげていくかが大切だと思います。
・資料4「幹事会のまとめ」をもとに第5期の相談支援部会、地域移行促進部会、幹事会での話し合い

結果について報告。

<地域移行促進部会>

- ・テーマなのか障害なのか、進め方等について幹事会で検討した結果、障害別に「精神」「知的」に分かれて課題の抽出、検討を行っていくこととなった。30年の法改正も見据え、精神障害者の地域移行についても検討を進めていく。メンバー、部会長は調整中。

<相談支援部会>

- ・重度心身障害児の検討グループから、医療的ケアの必要な児童の通学保障に関する課題が出された。前回の協議会本会で、医療的ケア児の通学保障に関して、東京都自立支援協議会に報告するよう意見があり、東京都自立支援協議会の事務局に報告したいと申し出たが、取り上げられなかった。今後は、差別解消支援地域会議にも合理的配慮がなされていない事案として報告することを幹事会で確認。東京都の差別解消関連の会議にも報告として上げていく。
 - ・高齢期の課題検討グループについては、委員からいろいろな意見が出されているが、個別の課題と地域の課題が混同していないか等、整理が必要。次期も引き続き、このテーマで課題を整理してもらい、本会に意見を上げてもらうよう相談支援部会に伝える。また、高齢分野の支援者にも障害理解を深めてもらい、障害分野も介護保険のことを知るとい意味で、次期の本会には、ケアマネやケア24からも委員をお願いしたい。
 - ・就労の課題検討グループは、特別支援学校からの就労の課題や、ワークサポート1か所だけで就労を支えている等、杉並区における課題について広く意見を求めるために部会化をどうするかも含めて検討した。障害特性の理解が進んでいない、短期間で離職を繰り返す、高齢障害者の再就職、職業準備性が見極めがうまくいっていないなどの課題が出された。就労の定着にはスムーズな連携や各機関の役割分担が必要だが、課題の解決には至っていない。出された課題は雇用支援ネットワーク会議に引き継ぐが、就労の課題は定着だけではないため、今後も広く話し合っしてほしい。
 - ・児童の課題検討グループは施設見学を実施し、放課後等デイサービスを中心に見学を行い、支援の質にバラつきがあることなどの課題が上げられている。次期は学校との連携の強化、学校で使用しているアセスメントについても勉強したいという希望も出ている。
 - ・ライフステージ別では学齢期、高齢期に大きな課題がある。部会での議論が、どのように本会で検討され、区に挙げられるのかが見えないという意見が多々あることについては、幹事会でも引き続き検討していくことを確認した。
 - ・全てのグループを部会にしてもよいのではという意見もあったが、幹事会としては就労について部会化する方向で準備をすすめていくことを確認した。
- (2) 相談支援部会について (下田委員)
- ・5月17日に第1回目の相談支援部会を開催した。事前に幹事会を開催し、今年度の相談支援部会の運営について検討した。地域割にして実施する案も出されたが、同じようなテーマを各地域で検討することにもなるのではないかと意見もあり、全体42名で運営をしていくこととなった。
 - ・第5期から引き続き検討するテーマは継続する。
 - ・計画部会のスケジュールとリンクした運営を行う。
 - ・今年度のワーキンググループは5つ。

① 複雑化するケース、多岐に渡る分野のケースの課題検討。

② 重度心身障害児の学校卒業後、成人期をどう支えていくか。人数は少ないが情報発信、共有をしていきたい。

③ 児童についてはネットワーク構築を中心に、放課後等デイサービスの質について、課題を抽出し、質の向上に向けた取り組みを実施。特別支援学校、特別支援学級にも広げていく。

④ 移動（社会参加）、外出の課題検討。

⑤ 高齢障害者の課題検討。実態把握、課題の発信。サービスだけでなく生活をどう支えるのかという視点での議論も進める。

・第5期は、本会委員の永福学園の大和田先生に重心児のグループに協力していただいた。引き続き、永福学園の先生にご協力をお願いしたい。高齢期のグループにも、ケアマネやケア24の委員にご協力をお願いしたい。

<就労部会の立ち上げについて>

・第5期のまとめ、幹事会での確認を受け、就労部会を新設する方向で準備をすすめていく。まずは課題整理を行うため、前年度の就労の課題検討グループのメンバーに声をかけ、準備会を行いたい。5月、7月に準備会を開催し、秋以降に部会の立ち上げを行いたい。

○会長より：地域移行促進部会は、精神障害、知的障害の2つのグループに分けて活動していくこと、相談支援部会は、5つのグループで活動していくこと、就労の新たなグループも活動していくことが報告されました。これまでの報告について、ご質問があればお願いします。質問が出ないようですので、ここで10分間休憩とします。

～10分間休憩～

(3) シンポジウムについて

・今年度のスケジュールでは、計画策定もあるため、シンポジウムは1月に実施としたい。事務局と実行委員で準備をすすめていく。実行委員については、この場で立候補していただければお願いしたいが、いないようであれば比較的新しい委員の方に個別に声をかけさせていただく。

○会長より：地域自立支援協議会は情報機能が、特に発信していくことは重要。多くの方にこの協議会を知っていただく機会としていきたいと思えます。

7 議題

(1) 今期の本会の進め方について・・・資料8参照

・今期の本会開催は計画策定とリンクしてスケジュールリングしていく。自立支援協議会のもとに設置している差別解消支援地域会議の開催や、障害者福祉推進連絡協議会も資料8のスケジュールで開催していく予定。

(2) 計画部会について・・・資料5・6・7（障害者施策課管理係山本係長）

・資料5「杉並区障害者計画等の改定・策定について」をもとに、計画策定についての考え方を説明。計画の策定にあたっては地域自立支援協議会の意見を聴くこととされていることから、自立支援協議会のもとに計画部会を設置し、障害者福祉推進連絡協議会からも計画部会の委員を選出する。

・計画部会の委員については、資料5の別紙「計画部会の委員候補者」に依頼したい。

・資料6「障害者計画・障害福祉計画と実行計画との関係」について説明。実行計画は予算の裏づけのあるものとなっている。平成30年度に総合計画、実行計画（平成31～33年度）の改定作業を行う。

・資料7「杉並区の障害者（手帳所持者）数の推移」については、平成29年4月1日現在の速報値。

・計画部会のメンバーは（案）でよいか？⇒了承。

（3）資料9「地域生活に関する調査報告から」について

・今回の調査から難病の方も入っている。発達障害者、高次脳機能障害者は、区の事業に参加している方に個別に依頼している。

・住まいについては、暮らしたい場所で暮らすために必要なこととして、どの障害の方も「支援者や地域住民の障害理解」「自分で身のまわりのことができる」「特性にあった支援」と回答する割合が高い。発達障害・精神障害の方では「自分自身の障害理解を深めること」と回答する割合が高い。

・住まい、医療、就労ともに「障害理解」というワードが目立つ。

・資料9と別添の概要版を参考に、皆様から意見をいただきたい。

○会長より：計画部会は6月、7月に開催される予定ですが、次回の協議会は8月なので、本日参加の皆さんからご意見やご要望があれば、お願いします。

・計画の数値より実績が下がっている理由は何か？人手なのか何が不足しているのか？そのあたりの分析と情報共有をしていければと思う。

・自宅勤務のことも考えてほしい。自宅で仕事をすることもあるが、ヘルパーが使えない。通勤にもヘルパー利用ができないので考えてほしい。

・自分の病気を正しく理解するのは必要だが、ドクターによって違ったりする。自分の病気は何なんだろうと悩んだり、正確な病識が持てない。自分の障害理解の入口で迷う。家賃が払えないのは本当にそう思う。保証人がいない。かかりつけ医がいない。自分は内科にもかかっているが、精神科の薬で内科的な数値が上がってしまう。副作用でも数値が上がる。精神科と内科の連携が進まない。すまいるで就労に関するミーティングをやっているが、法定雇用率が上がったので就労している人が多くなっているが、責任ある仕事につかせてもらえない。データ入力など事務系の仕事に行ってしまうがち。年末年始や連休など、窓口が一斉に休みになってしまい、生活リズムが崩れてしまう。どこか窓口を開けてもらえたらとゴールデンウィークに意見が出た。

○会長より：実際の生活の場での意見をどういう風に計画に反映させるか、部会で工夫をしていただけだと思います。

・どこで暮らしたいかの数値について、グループホームや施設に入りたいとは思わないのでは？

・後期高齢者の親が障害者の子ども（成人）をみている現状もある。親の意見、当事者の意見、それぞれを踏まえていくことが大事だと思う。

・ハード面の整備とソフト面の支えは重要。支援者の人的確保ができないことも課題。

・軽度知的障害者や、触法障害者を地域でどう支えていけばよいか？支援が難しい。

・日中活動の居場所として、就労継続支援B型や生活介護の施設が不足している。杉並区は似たような生活介護や就労継続支援B型が多いが、区外には多様な就労継続支援B型の施設もできているので、内容にも着目していくと社会資源が豊かになるのではないかな。

・就労については、知的障害者で一人では通勤できない方、通勤の練習をすればできる方など、通勤の課題がある。

・調査報告で一番大きな課題は「障害理解」ということだが、具体的に計画に盛り込むのがとても難しい。そこを念頭に置いて、どう計画に反映させるかを忘れないで考えたい。

・精神障害者の地域移行のニーズも踏まえて計画を検討していただきたい。

○会長より：今、いただいたご意見で、数字をどう読むかなど、現場の皆さんの意見を踏まえて考えていく必要があると思います。議事録として確認していただき、6月中旬以降に第1回目の計画部会が開催されますので、6月10日頃までに資料を読み込んで気づいた点などを事務局に伝えてください。

8 その他

・次回の地域自立支援協議会は、8月30日（水）13：30～16：00です。会場は杉並区役所中棟6階第4会議室になります。

9 閉会

以上